



2012年に誕生したまちスポ。あっという間の11年でした。多くの皆様の応援があってこれまで活動を続けてくることができました。「まちスポを応援したい」「忙しくて時間は割けないけど何か協力できたら」そんな思いをお持ちの皆様からは寄付という形で活動のお手伝いをいただいています。いただいた寄付は大切に使用させていただきます。これからも地域で多くの笑顔を増やしていくためにまちスポの活動を支えてください。

個人として寄付!

賛助会員
年会費 1口 3,000円を1口以上

振込み

郵便振替 00840-9-183216
高山信用金庫 駅西支店・(普) 0166788
飛騨信用組合 松森寺支店・(普) 0793442

◆口座名義
特定非営利活動法人まちづくりスポット

団体・法人として寄付!

賛助会員
年会費 1口 5,000円を1口以上

※恐れ入りますが、振込手数料は会員様にてご負担ください。
・別紙賛助会員申込書をご記入・提出後、申込日より1週間以内にまちスポ窓口にて現金払い、または左記口座をお選び頂きお振込みください。
・会員期限は、入金日より1年間となります。
・賛助会員年会費は、寄付に係る支出金に該当します。

クレジット・さるぼぼコイン



クレジットカードで振込をご希望の方は、QRコードを読み取るかURLを入力してページにアクセスし、該当金額をお選びください。詳しくはページをご覧ください。



<http://machispo.org/donation/anydonation>

ここでつながる、
ここからはじまる。



認定NPO法人
まちづくりスポット

2023(令和5)年度 年次報告書
2023年 4月1日～2024年 3月31日



認定NPO法人まちづくりスポット、
お気軽に **まちスポ** と、呼んでください。

まちスポは、あなたの「やりたい」「やってみたい」の実現をお手伝いする組織です。

ビジョン Vision
歩みだすその一步を
応援します！

私たちの活動によって培われる人とヒト、人とモノ、人とコトを結んだ「結び芽」が地域を守り続けていくためのきっかけとなり自分自身の幸せを掴む第一歩になると信じています。



ミッション Mission
人とヒト・コト・モノを結ぶことで
地域の原動力を活かします！

- 1 同じ志を持つ仲間との出会いの場を設け、新しいアイデアの構築や仲間と団結する機会をつくります。
- 2 個人と団体・組織が市民活動を身近に捉え、関わりやすい場所をつくります。
- 3 企業・行政・NPOが、それぞれの強みを活かし、互いに理解し支え合える関係をつくります。



新代表挨拶 Message

代表理事 / 長瀬達三



5月31日の総会で、竹内さんに代わって代表に就くこととなりました。私は「まちスポ」という団体名ができる前から携わっていますが、当然ながら設立当初は知名度もなく、見向きもされませんでした。それが、日本トップクラスのNPO活動家である竹内さんと、日本トップクラスの実業家である森内さんという強烈な個性を放つ代表に引っ張られ、これまた強烈な個性を持つ事務局スタッフの活躍により、今となってはNPO、企業、行政など、あらゆるジャンルの方々から日々多くの相談が寄せられるようになり、中間支援団体としても多くの実績を残してこることができました。

強烈な竹内さんだったからこそ、今のまちスポが在るわけですが、果たして私にそんな竹内さんの代わりが務まるだろうか。役職員全体を介渡した時に、最も没个性的な私では力不足なのではないか。逡巡したのは事実ですが、竹内さんと同じことをする必要はなく、私には私にしかできない代表の務めがあると今は信じています。

(2024年5月31日就任)

2つの交流拠点 Two places to interact



まちスポ飛騨高山

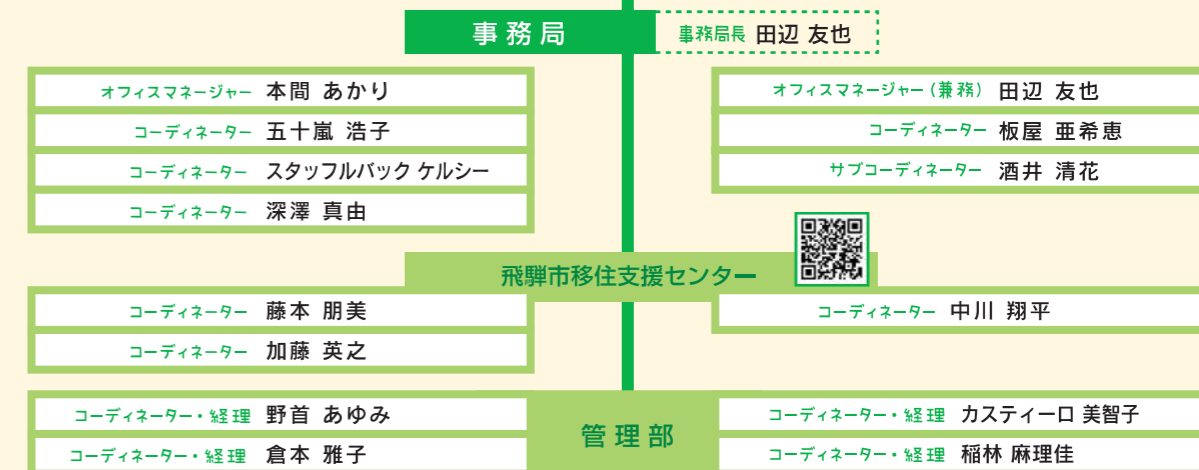


〒506-0025 Tel 0577-62-8550
岐阜県高山市天満町1-5-8 Fax 0577-62-8580
(フレスポ飛騨高山内) ☑ info@machispo.org
開館時間 / 10:00~18:00 定休日 / 火曜 年末年始
アクセス / 高山駅より徒歩15分 年未年始
駐車場完備(フレスポ飛騨高山 無料駐車場373台)

まちスポとやま



〒930-0083 Tel 076-461-3332
富山市総曲輪4丁目4-3 Fax 076-461-3359
(総曲輪レガートスクエア内) ☑ toyama.info@machispo.org
開館時間 / 8:30~17:30 定休日 / 日曜、年末年始
アクセス / 国際会議場前より徒歩2分
お車で越しの際は、総曲輪レガートスクエア内
立体駐車場「Dパーキング」をご利用ください。



(2024年5月31日現在)

団体概要

【名称】
特定非営利活動法人まちづくりスポット

【設立】
2013年3月4日

【主たる所在地】
岐阜県高山市天満町1-5-8
(フレスポ飛騨高山内)

【活動内容】

交流スペースの利用促進に係る事業
まちづくりの推進に係る事業
ネットワーク事業
人材育成及び研修に係る事業
広報活動に係る事業

賛助会員数 個人81名
団体・法人38団体
正会員数 16名 (2024年3月31日現在)

【役員】

代表理事 長瀬 達三	理事 坂口 みずえ
代表理事 森内 潤一	理事 中崎 雄二
専務理事/事務局長 田辺 友也	理事 溝際 清太郎
	理事 安江 健一
	理事 伴 和史
	監事 鳥居 翼

(2024年5月31日現在)

偶然の出会いの創出

交流スペースの 利用促進に係る事業

地域の市民、団体の活動が広がることを目指して、気軽に立ち寄れる場所をつくります。各種イベント開催のサポートや活動の展示、お絵かきスペースの設置などを行っています。偶然の出会いが生まれるきっかけを増やすことで、新しい人との繋がりやアイデアの共鳴を促し、地域活動に活かします！



■高齢者あんしんセンター

終活について、どう対応したらいいか悩んでいる高齢者やその家族が気軽に話しに来れる相談会を、2021年より毎週月曜日に開催。長年の経験や資格を活かした終活サポート、ちょっとした困りごと・悩み事の相談場所として「あんしん」を提供してきました。

利用例の 紹介2023



■おやおやの会

グレーゾーンから発達に特性のある子の親の会で、コミュニティづくりや情報の発信・共有と活動をしています。2023年度は座談会やイベントのリハーサルなどにご利用いただきました。どの企画も和気あいあいと楽しい雰囲気です。真剣に社会問題に向き合っ活動を広げています。



■藍天書道教室

子どものやってみたい！という気持ちを大切に、書く力を育む教室です。体験教室や作品の壁面展示、親子イベント等にご利用いただきました。来館される皆さんが作品を見て明るい表情になる素敵な作品の数々の制作・展示活動を通して「筆」に親しんでもらう活動を行っています。



■すまでざ

飛騨地域を中心に活躍されているクリエイターさんの応援と、地域の活性化を目指している団体です。「ワンコインマーケット」や「クラフトくらぶ」などのイベントで利用していただき、たくさんのお客様で賑わいました。

利用登録団体と 来館者数

利用会員一覧

交流スペース「まちスポ飛騨高山」を利用している利用会員登録数は、2023年度28団体(2022年度22団体)と、昨年度から増加しました。一年間来館者数も10,319人(2022年度7,932人)で2,000人以上増加しました。継続的に利用して下さる団体は増えたものの、新規利用会員の減少が大きかったです。今後は、新規利用をしていただけるように、交流スペースの周知を積極的に行っていきます。

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会 岐阜県福祉人材総合支援センター(保健・医療・福祉) / もふっこひだ(保健・医療・福祉) / やってみよう展実行委員会(まちづくり) / おやおやの会(子育て支援) / 高齢者あんしんセンター(保健・医療・福祉) / コーブぎふ・おたがいさまひだ(保健・医療・福祉) / すまでざ -Smile Design Project-(文化・芸術・スポーツ) / りほりとみくく教室(子育て支援) / おはなしネット ことだま(文化・芸術・スポーツ) / 飛騨うたごえサークルやまびこ(文化・芸術・スポーツ) / 飛騨ゼロウェイストプロジェクト(環境保全) / 岐阜県補聴器センター(保健・医療・福祉) / 藍天書道教室(文化・芸術・スポーツ) / 公益社団法人認知症の人と家族の会 岐阜支部(保健・医療・福祉) / NPO法人 飛騨高山わらべうたの会(子育て支援) / ポピュラーミュージック吹奏楽団 West Wind of Session(文化・芸術・スポーツ) / Family Planet Japan(国際協力) / 株式会社リトルパーク(まちづくり) / 4040(文化・芸術・スポーツ) / 特定非営利活動法人 la cassetta メイちゃんのおうち(子育て支援) / NPO法人活エネルギーアカデミー(環境保全) / 蒼春書道教室(文化・芸術・スポーツ) / ひだママフェスタ実行委員会(男女共同参画) / はみんぐアニマル(まちづくり) / 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 高等研究院 先制食未来研究センター(社会教育) / 飛騨かしの会(災害救援) / 一般社団法人 もちもちびと(まちづくり) / サポートサービス COME TRUE(保健・医療・福祉)

交流スペースの 活用事例

催事・会議

参加者を広く募集しての企画や、スタッフ研修など近い人だけで行う催しなど様々な企画が可能です。



◀座談会・交流会・体験会 ▲講座・研修

取材・収録・撮影

撮影中も人が出入りできてしまいますが、取材場所や収録場所としてもご利用いただいています。

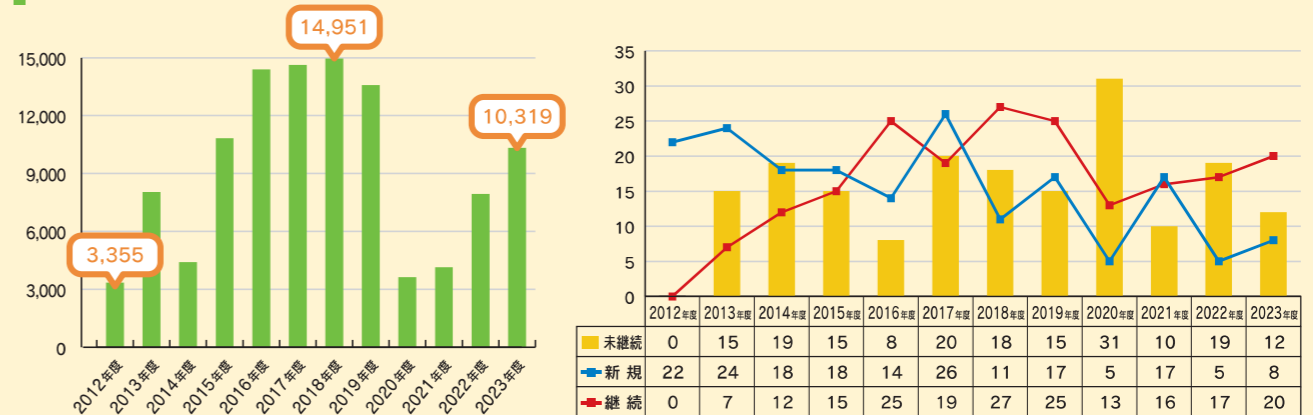


情報発信

2023年度は新規で145件ありました。まちスポには、チラシやパンフレットなど地域情報が集まっています。情報を発信したい人も、何か探している人もぜひ一度ご来館ください。



10年間の来場者と利用登録団体の推移



私が主役のまちづくり

まちづくりの推進に係る事業

地域住民が地域課題を自分事として捉えたとともに、異なる所属の人や組織と協力し合うことで主体性を持って、挑戦できる環境をつくります。一人一人の声に耳を傾け、みんなの知恵を活かして、みんなの力でまちをつくります。私たちの共通の目標は「よりよいまちへ！」

多文化共生



1 地域防災の普及支援

飛騨地域で働く外国人のために日本語教師による日本語講座と、有事の際に身が守られるように防災士による防災教室を合わせた教室を出張で行いました。外国人を雇用している企業・事業所の協力のもと就業時間1時間を使い実施しました。日本語教師からは防災に関連する日本語を学び、防災士とハザードマップを使い自宅からの避難所・避難経路の確認をしました。外国人が飛騨地域で安心安全に暮らせるように取り組みました。



開催回数 7回(22企業)
参加者数 53人
令和5年度岐阜県孤独孤立対策事業補助金 採択事業

2 外国ルーツの子どもの教育



NPO法人可児市国際交流協会が実施されている「ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク構築事業」のコンソーシアムに参加し、可児市国際交流協会の協力のもと、飛騨地域3市1村における外国につながる児童生徒を取り巻く状況の調査を実施し、現状の把握と調査結果をご報告すると共に、ネットワークの目指すところの「県内どの地域に暮らしていても学習支援につながる」ように当団体も取り組んでいきます。

まちづくりスポットでは2025年2月までに下記を行う予定です。飛騨地域における外国につながる児童生徒を取り巻く状況を把握するための調査／小中学生学習支援の実地／進路支援

中部圏創造ファンド 2021年度休眠預金資金活用・草の根活動支援事業、チームによる支援活動の広域展開
～子ども・若者(外国人を含む)に焦点あてた社会的包摂の実現～
コンソーシアム幹事団体 NPO法人可児市国際交流協会
事業実施期間／2022年～2024年
事業名 / ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク構築事業
当団体事業期間／2024年2月～2025年2月



3 国際交流促進

在住外国人を飛騨地域の仲間として尊重し、多文化共生社会を作るために互いの文化を知るための文化交流会と料理交流会を企画・開催しました。今年度は高山市の在住外国人の中で割合の多いベトナムをテーマにし、在住ベトナム人フィバン・トウェン氏の協力のもと取り組みました。料理交流会では定員数を上回る応募があり、継続して企画して欲しいとの声も多数ありました。今後も、在住外国人が主体で活動できるように進めてまいります。

2023年11月5日(日)
ベトナム文化交流会 27名
2024年1月14日(日)
ベトナム料理交流会 32名
(公財)岐阜県国際交流センター
令和6年度多文化共生推進事業助成金 採択事業



飛騨コミュニティ財団 設立事業

(仮称)



一般社団法人の組成

- ・設立出資金として有志からの寄付を募る 3,635,053円
- ・設立にあたっての賛同人署名を集める 署名合計1,017人
- ・設立に向けてのメッセージ募集 37コメント(Instagramにて公開)
- ・2023年9月12日(火) ひだ財団設立会見/設立記念助成発表



設立記念助成プログラムの実施

- 最大10万円を助成
- テーマ
「安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援を行う活動」
- 応募件数2団体 採択件数2団体
- 事業実施期間 2023年11月～2024年2月

▼一般社団法人もちもちびと

報告会 2024年2月18日 参加人数14人
実践①/子どもの主体発揮の機会を保障するプレーパークの開催
時期/2023年11月～2024年2月まで毎月1回(合計4回)
場所/高山市神明町3-53 こどもの基地ねこのひげ
来場者/述べ65名

実践②/子どもの育つ環境について考える機会と、視野が広がる経験を提供する…現在行われている「こどもの権利条例」の検討にあたって、高山市が市民に開かれた意見交換の場「こどもまんなか社会を考えるお話し」を開催し、プレーパークに遊びに来る子育て世代以外の層も参加できる機会を毎月1回企画した。

▼TMBJ-高山まちづくり協議会防災士女子会-

報告会 2024年3月10日 参加人数47人
実践①/防災カフェ「防災わくわく広場」の開催
日 時/2024年3月2日(土) 10時～14時
場 所/駿河屋アスモ店2階 フリースペース及びキッチンスペース
調 査/オンライン意識調査アンケート R5.9.19-10 結果を活用
内 容/バッククッキング・防災食試食・防災力チェック・自宅チェック・卵から踏み体験・防災備蓄展示・持ち物シールワーク・防災クイズ
参加人数:来場者72名 スタッフ8名

実践②/教材の開発
防災備蓄(水・トイレ・地震診断等) 教材作成 シール教材 200部作成
→防災わくわく広場や啓発活動で配布

2021年度～2023年度の3年間、飛騨地域の新しい資金循環の仕組みをつくるためにコミュニティ財団の設立を目指す活動を実施してきました。この設立にかかる調査・研究と人材育成等の費用は助成金(休眠預金活用事業)を活用しています。

スキマ研究会

飛騨地域に起きる様々な困り事に関する意見交流会をリアル会場とオンラインを併用して開催。

2023年 4月10日	「不登校、その先を考えるVol.3～高校入試について～」
2023年 5月28日	「Let's Talk About Gender」
2023年 6月29日	「福祉×地域通貨#2～里山で価値を生み、里山で稼ごう!～」
2023年 9月23日	「みんなの選択Vol.2～骨髄バンクについて～」
2023年10月06日	「Startup Jam Session in Hida」
2023年11月15日	「車椅子ユーザーのお出かけ事情」
2023年12月23日	「HidaU29MeetUp」
2024年 1月25日	「みんなの選択Vol.3～発達性ディスレクシア(読み書き障がい)との向き合い方～」
2024年 2月01日	「みんなの選択Vol.4～乳がん検診について～」
2024年 2月22日	「DISCOVER GERO」



飛騨地域フードバンク活動基金・助成金

まだ食べられるのに、さまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届けるフードバンク活動等への寄付金の窓口を開設。145,619円のご支援をいただきました。2024年4月に助成金の公募を開始し、有識者による審査を経て、同年5月に交付決定しました。

交付団体	フードバンク飛騨高山 事業名「フードバンク事業」 交付額 10万円
------	---

資金仲介

令和6年 石川能登半島地震 緊急災害支援金 クラウドファンディング 2,804,000円(カンダまちおこし株式会社と共同実施)



1 飛騨地域求人 特集ページの活用及び、 求人掲載企業への セミナー開催



2021年4月1日より飛騨地域仕事探しサイト「飛騨で働く！求人特集」ページがリニューアル。飛騨地域の企業54社90求人を掲載中です。

2023年度は飛騨地域事業者に向けた人材採用手法、飛騨地域求人特集ページの案内セミナーを完全オンライン開催。講師にWEBコンサルタント・浅井葉月氏を招き、ポストコロナ時代の採用方法、求人広告、そして社内の内部環境改善の秘訣を成功・失敗事例を交えながら分かりやすくお伝えしました。また、これから就職活動を控える学生や留学生にも参加してもらい、多様な視点での求人情報を見る時の重視する点や気になる箇所を参加企業に伝える勉強会も実施しました。



<https://www.hida-iju.com/category/recruit>

移住・定住 促進事業

1～3は、飛騨地域連携移住・定住促進支援業務です。飛騨地域の3市1村(高山市、飛騨市、下呂市、白川村)が連携した「飛騨地域連携協議会」から事業を受託し、移住定住に繋げるための事業に取り組みました。

2 飛騨地域総合移住ホームページ 「グッとくる飛騨」の運用保守

移住検討者目線で仕事や暮らしなど目的の情報を得やすく導線強化した移住検討者に向けたホームページです。2023年度で年間64,682PV(ページビュー数)を超える閲覧があったサイトになっています。

(2022年度74,994PV)



<https://www.hida-iju.com/>

3 飛騨「未来の地域編集部」の 運営、地元ライターによる 飛騨地域の情報発信

飛騨地域の「暮らし情報」を取材し、ブログ形式の記事にまとめ、ホームページ「グッとくる飛騨」で配信しました。ライターは世代、出自が様々。生まれも育ちも飛騨地域内、県外からの移住者など、それぞれの目線から2023年度も10本の記事を投稿しました。



4 飛騨市移住定住支援事業

2023年度より飛騨市外からの移住者を呼び込み、住み続けてもらえるよう飛騨市が新たに「飛騨市移住支援センター」を開設しました。まちスポから移住コーディネーターを窓口に配置して、移住(Uターン含む)・定住の検討者に、必要な情報(住居、仕事、生活、地域等)や、移住定住に関する各種支援制度等についての相談対応をしています。また、移住に係る情報の集約、提供、発信も行っています。



移住交流施設 神明寮

仕事・住まい探し中の一時滞在や、町の雰囲気を実際に暮らして体感し安心して飛騨地域に移住してもらうための移住体験施設です。移住検討者だけでなく、研修・インターンシップに訪れる大学生や社会人が地域と関わる拠点としても活用しています。

利用者数

研修利用 3名、移住体験 15名

稼働日数

研修利用 3日、移住体験 103日



<http://machispo.org/activity/machidukuri/sinmeiryō>



第7回 ワーキングホリデー in 飛騨高山

繁忙期のトマト農家で、大学生がインターンシップに取り組みました。この事業は丹生川町の農家さんの「少しでも人手不足を解消したい」という相談がきっかけで始まり、今年度で7回目を迎えました。今回の実習受け入れ農家数は4農家、学生は8大学から27名が参加しました。参加者の中には昨年度参加した学生や、参加後に違うクールで再度参加する学生がいるほど魅力的なインターンシップになりました。

受け入れ実績

参加学生 / 8大学27名 受入農家4軒

受け入れ期間

2023年7月24日(月)～9月25日(月)
(9泊10日×7クール)

「住民の語り場づくり」

知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話をし、自由にネットワークを築くことができるカフェのような空間で生まれるという考えで作られた「ワールドカフェ」という話し合いの手法を取り入れた交流会を2013年から継続して開催しています。



ワールドバー

2023年 8月20日(日)	第28回 移住者交流会&ライター勉強会	参加者 12名
2023年 8月27日(日)	第29回 多文化共生交流会 まちスポ with ippo to the world	参加者 53名

〇〇する会 ワールドバーの他にも様々なテーマで座談会を開催しています。

2023年 7月30日(日)	アイルランド文化交流会	参加者 17名
2023年 9月9日(土)	外国人のための「命を守るための教室」	参加者 0名
2023年 9月17日(日)	飛騨観考～森林サービス産業を考える～	参加者 9名



みんなで食べよう 冬休みプロジェクト

冬休みに家族と過ごせない子どもたちや高齢者の孤立の課題に対して何か活動できないかと事業指定寄付があったことがきっかけで実施することができました。感染症の影響で持ち帰りだけになっていた子ども食堂活動を、これを機に対面開催に踏み切ったり、これから子ども食堂事業を始めたいと準備していた団体のはじめの一歩になったり。あたたかい食卓をみんなで囲むと、ほっとしますね。

①大八まちづくり協議会「大八子どもランチ」

開催日/2023年12月26日(火)
場所/東山小学校 参加者/45名

②みんなの食堂さくら

開催日/2024年1月6日(土)
場所/一之宮公民館 和室 参加者/45名

③みんなの食堂まんさ

開催日/2024年1月6日(土)
場所/レンタルスペース「萬紗」 参加者/21名



岐阜県女性の つながりサポート事業

岐阜県ではコロナ禍で経済的困難や不安を抱える女性に対して、訪問支援や誰でも気軽に訪れることができる居場所の提供、生理用品の無料配布を行う「女性のつながりサポート事業」を実施。まちスポも「まちスポ飛騨高山」を使って居場所を提供する協力団体となりました。「ゴミについて考える日」「イングリッシュスポット-英会話教室-」のイベントと同時開催し、誰でも訪問しやすい居場所作りの提供をしていきます。

実施期間
2023年4月～2024年3月
内 29回 開催
参加人数 145名



<http://gifu-npocenter.org/tsunagari/>

令和5年度 高山市家族介護者相談室委託事業 介護のための ほっとする談話室



身内の介護を家族でする場合、どんなに大家族でも直接介護をするのは一人に偏りがちです。病院や怪我など一時的な介護はもちろん、永続的な介護ともなると、先が見えない不安と、毎日の小さなストレスを一人で抱え込むことになります。介護をする人たちが、誰に気兼ねすることなく心情を吐露できるのがこの談話室です。必要に応じて、専門機関との仲介も行っています。

2023年は、介護鬱になる手前の人が多く見受けられました。気持ちを言葉にすることで自分を取り戻し、また明日からの介護に取り組みます。まちスポ飛騨高山では毎月10日と20日を固定化して開催しています。



開催回数 26回
(内、お出かけ談話室2回)
相談件数 102件
(来場92件、電話10件)



ホームページにも情報掲載中！
<http://machispo.org/activity/machidukuri-2/kaigo/>

富山県女性の つながりサポート事業

富山県女性財団から業務委託を受けた相談業務を実施しました。約1ヵ月という短い期間でしたが、10代から70代まで幅広い年代の女性からさまざまな相談を受け、ご希望に応じて生理用品やマスク等をお渡ししたり、行政の相談先をご案内したりしました。折しも、能登半島地震の発生直後ということもあり、被災して買い物が困難になった方や地震の影響による心理的な不安、体調不良を抱える方からも相談が寄せられました。

実施期間 2024年1月4日(木)～31日(水)
相談件数 32件



広がるまちスポ ネットワーク

全国のNPOや企業、行政とネットワークを築き、さまざまな組織との協働を生みだします。地域で培ったノウハウを全国の活動を広げ、また、全国の組織と情報交換をしながら各地のまちづくり活動へ活かします。2012年11月1日に交流スペース「まちスポ飛騨高山」が開館以来、2023年度末で全国のまちスポ来館者数は110万人以上になりました。延べ2,300以上の利用登録者・団体が各地のまちスポで活動しています。

岐阜県 フレスポ飛騨高山

⑤ まちづくりスポット 飛騨高山

運営：認定NPO法人まちづくりスポット
開設：2012年11月1日
HP：http://machispo.org/



富山県 そうがわ 総曲輪レガートスクエア

⑥ まちづくりスポット とやま

運営：認定NPO法人まちづくりスポット
開設：2017年4月1日
HP：https://www.machispo-toyama.org/



滋賀県 ブランチ大津京

⑦ ハッシュタグ大津京

運営：NPO法人まちづくりスポット大津
開設：2019年11月29日
HP：https://otsu.hashtags.biz/



兵庫県 ブランチ神戸学園都市

⑧ まちづくりスポット 神戸

運営：認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸
開設：2013年12月6日
HP：https://machispokobe.com/



岡山県 ブランチ岡山北長瀬

⑨ ハッシュタグ岡山

運営：一般社団法人北長瀬エリアマネジメント
開設：2019年6月27日
HP：https://oka-kitanagase.hashtags.biz/



福岡県 ブランチ福岡下原

⑩ まちづくりスポット 福岡東

運営：NPO法人アクションタウンラボ
開設：2018年11月30日
HP：https://msfuk.jp/



北海道 フレスポ恵み野

① まちづくりスポット 恵み野

運営：認定NPO法人まちづくりスポット恵み野
開設：2015年4月10日
HP：http://machispomegumino.org/



宮城県 ブランチ仙台

② まちづくりスポット 仙台

運営：NPO法人まちづくりスポット仙台
開設：2018年4月25日
HP：https://www.machispo-sendai.com/



千葉県 フレスポ稲毛

③ まちづくりスポット 稲毛

運営：認定NPO法人まちづくりスポット稲毛
開設：2013年6月7日
HP：http://machispoinage.org/



神奈川県 ブランチ茅ヶ崎

④ まちづくりスポット 茅ヶ崎

運営：認定NPO法人まちづくりスポット茅ヶ崎
開設：2015年4月1日
HP：http://machispo-chigasaki.com/



9団体
10施設を
展開



まちスポとやま

まちスポとやまは2017年に官民連携複合施設「総曲輪レガートスクエア」の事務局として活動をスタートし、開設6周年を迎えました。地域コミュニティ醸成と交流の場として公共レンタルスペース「まちなかサロン」と民間レンタルスペース「ギャザリングスペース」の管理・運営を行っています。

DATA

まちなかサロン来場者数・官民連携事業来場者数……7,171名 (2023年度)
 まちなかサロン使用登録団体数…60団体 (新規12団体、継続48団体) 総曲輪レガートスクエア視察件数……8件
 ギャザリングスペース・貫通通路使用回数…211回 (ギャザリングスペース210回、貫通通路 1回)
 相談実績……256件



総曲輪 レガートスクエア協議会 官民連携事業

官民連携事業は、総曲輪レガートスクエア内の施設が協働しながら、地域の方のクオリティ・オブ・ライフの向上の後押しをする企画や場の運営を行っています。

コミュニティガーデンでは、総曲輪地区住民を含めた登録ボランティアが中心となって、四季を彩る花々のお世話をしています。



初夏のガーデン作り



総曲輪レガートスクエア文化祭



文化祭・こたつで読み聞かせ

多世代交流 イベント

レガートスクエア内のコミュニティガーデンでは、地域住民や登録したグリーンボランティアらが交流しながら園芸体験を行いました。また、開設5周年を記念した「まちなかサロンの文化祭」では、ミニ体験会やスタンプラリーを開催。



文化祭・防災食



文化祭・段ボールベッド



社会に学ぶ「14歳の挑戦」

防災 ワークショップ

地域の日本語学校の留学生が防災ワークショップを開催するなど、多文化交流、多世代交流が実現し、コロナ禍以降初の盛大なにぎわいが生まれました。

14歳の挑戦 受け入れ

地域の中学2年生の職場体験を受け入れ、交流をサポートしました。



楽しくてためになる「おかねかるた」体験



ハーブのお正月飾り作り



Hi! English

まちなかサロンの 夏・冬休み企画

小学生を対象に、夏、冬、春の長期休み期間に、施設で活動する団体やまちなかサロンの登録団体、地元の高校生らに講師になってもらい、楽器体験やハーブのワークショップ、書き初め大会の練習会を開催しました。また、留学生を講師に英語を使って旅の疑似体験をする異文化交流企画も好評でした。

ギャザリングスペースの運営

民間のレンタルスペースであるギャザリングスペースでは、2F「ギャラリー」「和室」「BAR」と趣が異なる3スペースと1Fの屋根付き屋外スペース「貫通通路」が利用可能です。セミナーやミーティング、パーティーの他、チャレンジショップの出店としても活用されてきました。2023年度は、利用の様子をSNS投稿すると駐車場の割引サービスが受けられるキャンペーンを開催。新規の利用件数は昨年度に続き過去最高となり、認知度を高めています。



BARで手作り焼き菓子販売

トールペイント作品展



令和6年能登半島地震「とやまささえあい基金」

令和6年1月1日に発生した能登半島地震を受け「とやまささえあい基金」を創設。募金箱やクラウドファンディングを通じて、令和6年1月～3月までに370,300円の寄付を受け付け、富山県内における能登半島地震の復興支援活動を行う富山県内6団体に総額249,010円を助成、交付しました。80,260円は2024年度に持ち越し、引き続き富山県内における復興支援に関わる活動に使用させていただきます。

とやまし 元気づくり プロジェクト2023



富山県は、市民1人ひとりがウェルビーイング（健康で幸福な状態）を目指せるよう取り組みます。市が目指すウェルビーイングとは生きがい・仲間が増えて元気を増やすこと、病気の予防や治療のバランスを取りながら、自分らしくイキイキと生活できることです。そのような市民を増やすために、まちスポは、2019年度より「富山県健康長寿コンシェルジュ・サービス元気プログラム運営業務」を受託し、元気を増やすヒントが詰まった3種類のプログラムを軸に24個のイベントを企画・監修、延べ606人が参加しました。

新型コロナウイルス感染症が第5類へと移行したこともあり、対面での活動を実施することができました。最終年となった2023年は、企画の主催・運営をサポートする「コンシェルジュ研修プログラム」も開催。2団体/個人が企画し、86名が参加しました。この事業をきっかけにまちなかサロンで継続的に活動する団体もあり、一步を踏み出す機会にもなりました。



ウェルビーイング研修

楽しく仲間づくり、元気づくりができる 3つのプログラム



ウェルビーイング 研修プログラム 「公募プログラム」

プログラムを企画したい人(全世代)を対象とした企画する学びを提供

採択2件(NPO法人富山国際学院、花・SOU)プログラム数5回 参加者数86名



知識や健康を求める人向けの街歩きプログラムを提供

プログラム数 5回 参加者数 99名

健幸の見える化 「ブラとやま」



子育て中の母親向け プログラム 「親子サークルtetote」

子育て中にママが交流し、子育てを楽しむプログラムを提供

運営委託：(株)マスキー
プログラム数14回 参加者数 421名

より加速する 活動のサポート

人材育成及び研修に係る事業

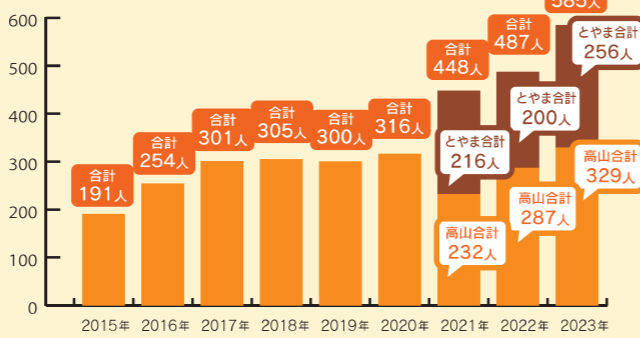
NPO法人や市民活動団体・個人が想いをかたちにして、活動が継続・前進するよう、事業運営や経理、人材のスキルアップ研修など様々なサポートを行っています。



まちそだて相談

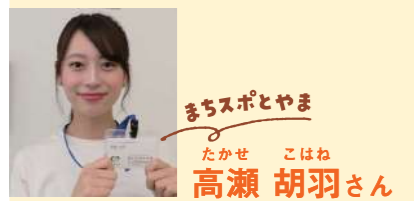
地域で新しく何かを始めたい人や団体の相談を受けています。2023年度はコロナ規制が緩和されて、新たに何か活動を始めたい、イベントを開催したい、在住外国人の交流の場がもてないか、などコロナ禍では開催できなかったことをしていきたいという相談が多く寄せられました。

相談件数推移



インターンシップの 受入れ

地域との繋がりづくりや地域づくりを担う若者の育成としてインターンシップの受け入れを行っています。学生の目的や個性を活かしたインターンプログラムを作成します。2023年度は3名の学生を受け入れました。



まちスポとやま
たかせ こほ
高瀬 胡羽さん

所属大学 富山短期大学 経営情報学科
受入期間 2023年8月19日
～9月23日のうち10日間

新しい体験やいろんな世代の人との交流ができればと応募しました。10日間のインターンシップの中で、「プラとやま」に同行・参加したり、いろんな活動をしている人のインタビュー取材をしたり、外国人生徒と関わる機会もあり、普段経験できないことばかりで毎日がとても新鮮で楽しく仕事できました。多くのことを勉強させていただき、この経験をこれから社会で活かしていきたいです。



まちスポとやま
さくもり りょうこ
菊盛 諒子さん

所属大学 愛知淑徳大学福祉貢献学部
社会福祉専攻
受入期間 2024年2月20日
～3月7日のうち10日間

地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進に関心があり、地域資源の活用から魅力的なまちを目指す視点に魅力を感じ、参加しました。能登半島地震の復興状況のヒアリングや総曲輪地区で活動する方への取材など様々な出会いの中で交わした言葉や気づきを今後の糧にしています。既存のつながりを大切にしつつ、自ら行動して新たなつながりを持ち、それを広げていくことの重要性を実感した10日間でした。



まちスポとやま
ルウンデブ
テムーレンさん

所属大学 富山大学経済学部経営学科
受入期間 2024年1月10日
～2月13日のうち6日間

モンゴルで生まれ育ち、18歳の時に日本へやってきました。これまでさまざまな背景を持つ方々と話す機会があり、日本人と外国人がもっと交流できたらと思っていました。まちスポとやまでは、外国の方が日本人との交流を促進するために、総曲輪レガートスクエアの施設を「やさしい日本語」で案内するというプロジェクトを立ち上げました。作成したサイトが多くの方に役立つものになればと思います。

まちそだて相談 ～過去ご相談例～

いただいた相談に対してまちスポができることは、地域のために何かしたいという思いを実現するお手伝いです。地域の魅力やポテンシャル、暮らす中での気づき、お困りの事などなど、皆さんの気付きや挑戦したい！その気持ちを教えてください。



何か したい!

全ては「誰かに伝える」ところから始まります。最初はまとまらないかもしれませんが、それでも大丈夫！一緒に思いを言葉にしましょう



相談内容

子どもの育つ環境について課題を感じている。ざっくりとした構想があるので聞いてもらえますか？(40代・女性・会社員)
▶ぜひお話しうかがいます。既存の活動に参加するもよし、新しく立ち上げるもよし、活動方法は様々です、一緒に納得できるやり方を探してみましょう。

相談内容

ボランティアをやりたい！仕事を探しているが何に興味があるか分からないし、自信もない。(20代・女性・求職中)
▶まちスポでのボランティアとして、事業企画をしたり、企業やNPOに訪問する際に同行してみましょう！

相談内容

どうしても取り掛かりたい地域課題があるが、一人ではどうにもならない。どこから始めたらいいか(30代・女性・フリーランス)
▶気になっている地域課題を一緒に整理してみましょう。そうすると解決の一步が見えてくるはず！

知って もらいたい!

広くみんなに活動を知ってもらいたい！一緒に活動する仲間を集めたい！などの声が寄せられています。



相談内容

新規事業を立ち上げます。周知啓発の方法についてアイデアがほしいです。(50代・女性・NPO法人職員)
▶一緒にアイデア会議をやりましょう！周知したい層が決まっていれば、そういう人たちにも参加してもらえるようお声がけてみます。

相談内容

チラシ・ポスターを置いてもらえるところをさがします(20代・女性・市民活動団体)
▶人が多く出入りするところや周知したい層の人たちがよく来る場所の目処はありますか？まちスポにも設置できるので、ぜひ一度ご来館ください。

相談内容

デザイナーを志す高校生の息子が学校以外で実践する機会を探しています。(50代・女性・自営業)
▶まずは、まちスポで行うイベントのチラシをつくってみるのはいかがでしょうか？飛騨地域のデザイナーさんと話してみませんか？

コラボ したい!

思いが重なる人・団体が手を組む事で活動の可能性は大きく広がります。まちスポは同じ志を持つ人たちを結びます。



相談内容

趣味でつくりためているハンドメイド作品を販売してみたい。(60代・女性・主婦)
▶ハンドメイド作家グループがいくつかあるのでご紹介します。販売の方法についても何うと良いと思います。気の合う人がきっと見つかりますよ！

相談内容

支所地域に住んでいる。地域活性のための活動をしていきたい。中心市街地と支所地域を結びような連携はできないか。(40代・男性・市民活動団体)
▶活動テーマごとに力になってくれる人たちをご紹介します！

相談内容

町内会や自治組織で新たな活動を始めたい。そのために何ができるかの意見交流の司会・進行をして欲しい。(50代・男性・市民活動団体)
▶気軽に意見交換できる話し合いの場づくりをサポートします。内容や人数によってファシリテーターをご紹介します。

発展 させたい!

まちスポに寄せられる声が一番多いのが自分の活動を発展させたいという思いです。組織の基盤強化がしたい、専門的な勉強がしたい、などの声が寄せられています。

相談内容

広報物の作成や、会計の処理、規約整備…。団体での役割をバッチリこなすための技術を身に付けたい！(30代・女性・NPO法人職員)
▶まちスポ主催のスキルアップ講座や、飛騨地域や岐阜県内でもたくさんの講座があります。ご要望に合わせてご提案します！

相談内容

分野に特化した中間支援の組織を立ち上げて、法人化したい。(30代・女性・市民活動団体)
▶仲間集めや法人化の手続きなど大忙しになるので、スケジュールを立ててやる事を整理してみましょう。

相談内容

事業継続のために資金調達をしなければいけない。補助金・助成金、クラウドファンディング、協賛などあって、どうしたらいいか。(40代・女性・NPO法人職員)
▶これまでの活動状況と今後の展望について一度お話を聞かせてください。それぞれの方法に特徴があるので団体メンバーと一緒に考える機会をつくってみませんか？



まちスポ飛騨高山 助成金申請へっちら講座

飛騨地域で活動する団体を対象に、助成金を申請するためにどのような知識が必要なのかを学ぶ講座を午前と午後二部構成で開催し、6団体13名が受講しました。第1部では原美智子氏より基本的な会計の考え方や助成金申請にあたっての項目などを学び、第2部では丸山学氏より助成金申請の募集要項の見方、プレゼンのポイントなどを学びました。



開催日/2023年12月9日(土)
受講者/6団体13名

第1部 「夢を叶える予算の立て方」
ぎふNPOセンター 原美智子氏

主催/認定NPO法人まちづくりスポット

第2部 「プレゼン力UP! 心に響く伝え方」
ひだ経営コンサルティング 丸山学氏



まちスポ飛騨高山助成金

飛騨地域の課題を解決するために活動している団体を応援することを目的に、まちスポに寄せられた寄付金を原資として、2014年度より交付しています。活動資金の補填のためだけでなく、申請団体自身の課題とも向き合いながらスキルアップする機会となっています。へっちら講座で学んだ内容を実践する場にもなるまちスポ飛騨高山助成金は助成金申請が初めての団体が多く参加され学びながら最初の一步を踏み出せる機会となっています。



2023年度 採択件数 なし

<https://machispo.org/activity/nposupport/joseikin2023/>

NPO会計相談



団体の活動の透明性を大きく左右する会計業務。NPO法人の会計の基本についてや、認定NPO取得へ向けた会計相談など様々な相談が寄せられました。会計事務に対する悩みから解放され、活動がより推進することを願い今後も活動を続けていきます。

視察・研修の受入れ

まちスポとやまでは、議員や地方自治体、企業からの視察を中心に8件を受け入れました。中でも、5月には韓国から平昌郡議員13名、10月には世界銀行の企画で開発途上国から約60名の一行を案内し、富山市のコンパクトシティ政策の中で「健康・医療・福祉」の拠点における官民連携の取組を世界に向けてPRしました。

視察・研修受入 高山3件/とやま8件



まち・ひとそだて講座 出世魚講座 まちスポボランティア講座

まちスポサポーターを対象に「わが町を盛り上げる人材の育成」を目指して2019年度よりスタートした事業です。まちスポでのブログ投稿や受付業務など基礎的な業務の中から、「後方事務」の重要性を伝え、NPO・中間支援について学べる研修になっています。

活動のさらなる 広がりを目指した広報

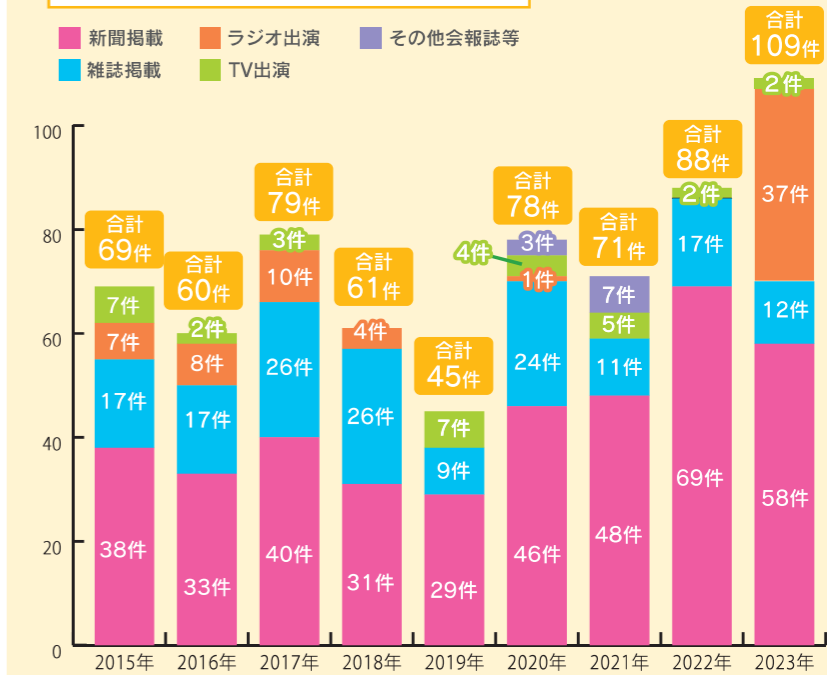
定期的な会報の発行をはじめ、チラシ、ポスター、ホームページ、SNSなど各種媒体を利用して、まちスポを利用する団体や個人の活動の周知や報告などを行っています。

メディア掲載

2023年度も、地域で起こる様々な諸問題解決に取り組む活動をしてきました。フレスポ周年祭や在住外国人へのサポート、障がい者アートの著作権セミナー等、他にはない取り組みが各種メディアに取り上げられました。また、ローカルラジオ冠番組「ここつながる、ここからはじまる」ここつな」が2023年4月より月一回放送開始。



メディア掲載件数推移



ラジオ番組の放送が開始しました

「ここつながる、ここからはじまる」毎月第4月曜日13:00~
まちスポの利用団体の活動や、当団体の事業についてご紹介しながら、課題解決に向けた地域の取組みや、活動開始のきっかけ、継続に向けた努力、活動する人たちの人となりを見聞する番組です。

「スキマ研究放送局」毎月第1・第3水曜13:00~
飛騨コミュニティ財団(仮称)設立事業の一貫ではじまった「スキマ研究会」。ここで取り上げられる地域の様々なスキマ(課題)とその解決への取り組みをラジオを通してご紹介しています。

Hits FM 76.5MHz Radio



広報ツール



会報 毎月発行ホームページに公開しています

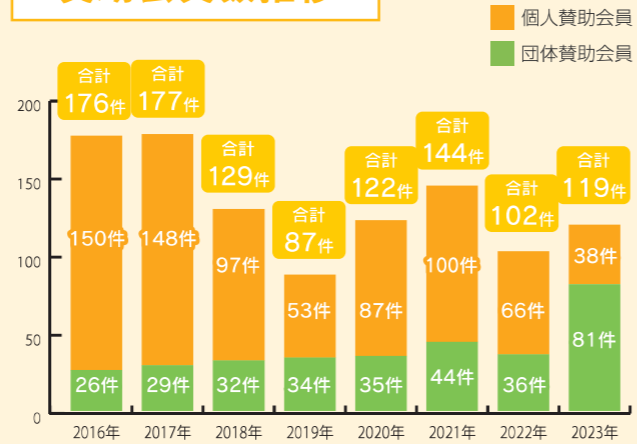
<p>ホームページ</p> <p>http://machispo.org/</p>	<p>facebook</p> <p>http://machispo.org/</p>	<p>ブログ</p> <p>http://machispoblog.hida-ch.com/</p>	<p>インスタグラム</p> <p>https://www.instagram.com/machispo_hida_takayama/</p>	<p>note</p> <p>https://www.instagram.com/machispo_hida_takayama/</p>
--	--	---	---	--

賛助会員

新たな事業を通じて繋がった方の入会や、初期のころより来館いただいている地域の方の入会がありました。また、一般寄付や事業指定寄付等もあり、地域活動に関心をもっていただけていることが大変ありがたいです。引き続き皆様より継続的にご支援していただけるよう、誠心誠意活動してまいります。



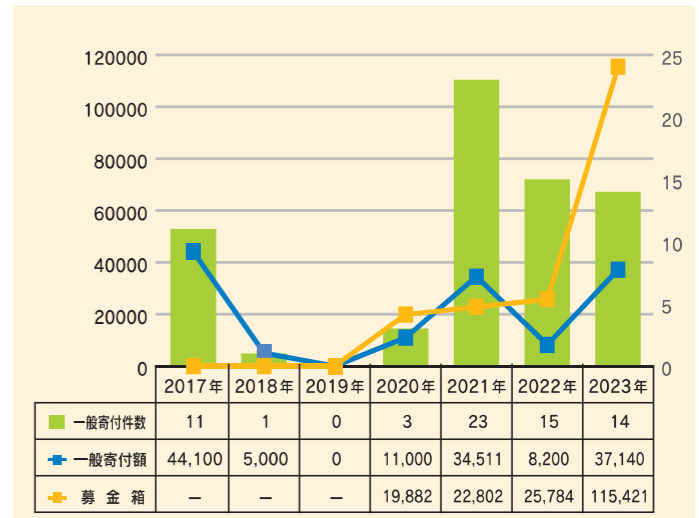
賛助会員数推移



一般寄付

賛助会員では1口の金額が決まっていますが、任意の金額での寄付も受け付けております。コロナ禍で危機感が募っていた頃と比較すると件数が減ってきていますが、地域課題はまだ多く、今後も継続して市民活動を応援していく必要があります。今回の集計では、当団体の持つ課題意識を広く周知しなければいけないと再確認する機会となりました。

事業指定寄付	金額	用途
2020年度	28,001,201円	飛騨地域医療支援プロジェクト
2021年度	なし	
2022年度	414,482円	フードバンク基金
2023年度	75,929円	フードバンク基金
"	200,000円	みんなで食べよう冬休みプロジェクト



周年事業

日頃ご利用いただいているお客様への感謝を込めてテナントが一丸となって周年企画に取り組みました。店舗スタッフがより身近な暮らしのアドバイザーとなれるよう、まちスポで企画を行っています。

フレスポ飛騨高山夏祭り

日時 2023年 8月11日(金・祝) 10時~21時
場所 まちスポ飛騨高山屋外スペース、81cafe
来場者 1,002名

地元飲食の出店や音楽ライブ、浴衣の着付け、夜は手持ち花火コーナーなどを開催。また、「81cafe」の4周年を記念してカフェで扱う野菜、器、ドリンクの仕入れ先である全国各地の美味しいモノが集結した。

企画: 認定NPO法人まちづくりスポット
 協力: マウンテンサイド



熱気球搭乗体験 HIDA OUTDOOR FREAK

熱気球搭乗体験
日時 2023年 9月24日(日) 6時~8時
場所 フレスポ飛騨高山駐車場
来場者 176名
主催 フレスポ飛騨高山11周年祭実行委員会
協力 一般社団法人おっぱら夢組合

HIDA OUTDOOR FREAK
日時 2023年 9月24日(日) 10時~16時
場所 フレスポ飛騨高山駐車場、まちスポ飛騨高山
来場者 1,083名
主催 HIDA OUTDOOR FREAKS実行委員会

熱気球搭乗体験は天候に恵まれ、応募者多数の中当選した方々に楽しんでいただけた。同日に開催したHIDA OUTDOOR FREAKではクライミングやウグイの試食、薪割り体験などを行った。まちスポがニッチでマニアックなアドベンチャーワールドになる一日となった。



青空アート祭・周年祭

"アート"をテーマに、見て聴いて楽しめる催しを開催。多くのサポーターに企画から準備、当日運営などで活躍いただきました。

日時 2023年 11月11日(土)、12日(日)
 両日 10時~16時
場所 フレスポ飛騨高山
来場者 837名(11日520名、12日317名)
 ※まちスポ飛騨高山エリアのみカウント

ステージプログラム

読み聞かせや手遊び、バルーンアートなど親子で楽しめるものから、弾き語りやバンド演奏などもあり、老若男女が楽しめるステージとなった。

出演者: 14組



ワークショップ・体験会

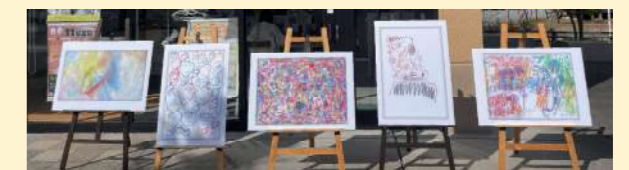
アクセサリ作りなどのワークショップやボードゲームの体験会などを実施。出店者: 5団体



青空ギャラリー

HIDAまちなかアートの企画メンバーと実施。作品は、すべて障がい福祉サービス事業所をご利用されている方が作成したものを展示した。

出展者: 25名



バルーングリーティング

オレンジピア→Mikiさんがバルーンをプレゼントしながらテナントを周遊。

日時 2023年 10月28日(土) 11時~、15時~
 11月12日(日) 10時半~
場所 フレスポ飛騨高山



フレスポひな祭り

子供たちを対象に、「お菓子のつかみ取り」を開催。たくさんの子供たちが参加し、終始和やかな雰囲気だった。

日時 2023年 3月3日(日)
場所 フレスポ飛騨高山
参加者 70組 217名



財務状況

NPO法人は毎事業年度初めの3ヶ月以内に、前事業年度の事業報告書、決算書類(活動計算書、貸借対照表、財産目録)、などを作成し所轄庁に提出することが義務付けられています。

事業報告書には、前事業年度にどのような活動を行ったかを記載します。関係者や寄付者、関わりのある方だけでなく、たくさんの方に法人の活動への理解をつなぐため閲覧できるようになっています。

活動計算書

科目		金額(円)
2023年4月1日～2024年3月31日		
I 経常収益		
受取会費	正会員	80,000
受取寄付金	賛助会員・その他寄付金	17,850,797
受取助成金		9,866,650
事業収益		
	交流スペースの利用促進に係る事業収益	447,500
	まちづくりの推進に係る事業収益	7,296,587
	ネットワーク事業収益	11,718,596
	人材育成及び研修に係る事業収益	259,560
	広報活動に係る事業収益	196,000
	その他この法人の目的を達成するために必要な事業収益	0
	事業収益計	19,918,243
その他収益	受取利息/雑収入	103
経常収益計(A)		47,715,793
II 経常費用		
事業費	人件費(給与手当/賞与/法定福利費等)	23,826,795
	業務委託費	10,415,618
	諸謝金	1,625,300
	印刷製本費	541,540
	会議費	254,931
	什器備品費	148,696
	旅費交通費	1,264,503
	通信費	766,580
	消耗品費	659,072
	修繕費	58,802
	水道光熱費	396,278
	賃借料	943,977
	保険料	201,697
	広報費	709,701
	諸会費	41,000
	新聞図書費	180,339
	租税公課	878,660
	研修費	24,200
	支払手数料	742,715
	報償費	355,349
	支払助成金	349,010
	活動支援金	52,000
	支払寄付金	44,000
	雑費	75,318
	事業費計	44,556,061
管理費		4,174,919
経常費用計(B)		48,730,980
当期経常増減額(A)-(B)		▲1,015,187
III 経常外収益		
雑収入		32,700
IV 計上外費用		
雑損失		15,548
V 特別利益		
特別利益計		0
VI 特別損失		
特別損失計		0
税引前当期正味財産増減額		▲998,035
法人税、住民税及び事業税等		153,000
当期正味財産増減額		▲1,151,035
前期繰越正味財産額		9,074,581
次期繰越正味財産額		7,923,546

⑬ 雑収入

昨年度まではコピー、ラミネート代の収益は印刷製本費に含めておりましたが、より会計を明瞭にするために今年度から雑収入として計上させていただきます。

⑭ 雑損失

まちスポとやまのギャザリングスペースの利用料の精算の際に預り金・立替金の科目を使用しています。過年度において仕訳処理のミスが発生しておりました。今年度、一括で精算させていただきます。

⑮ 法人税

法人県民税及び法人市市民税の均等割額を計上しています。

① 受取寄付金

個人及び団体の賛助会費、任意の寄付を計上しています。

② 受取助成金

「休眠預金活用事業」「令和5年度孤立・独立対策官民連携事業補助金」等の助成金を計上しています。

③ 人件費

飛騨高山、とやま職員の事業に係る給与手当及び法定福利費を計上しています。また、物価高騰対策としてスタッフ11名へ賞与を支給しています。

④ 業務委託費

外部へ委託した事務作業や、外部有識者へ支払った業務委託費を計上しています。

⑤ 賃借料

複合機や電話機のリース代の他、視察研修・移住希望者が宿泊するための寮を設置し、それに伴う家賃を計上しています。

⑥ 保険料

NPO活動総合保険の保険料を計上しています。

⑦ 諸会費

東海地域にある中間支援団体の正会員費を計上しています。

⑧ 租税公課

業務委託、請負等の契約時に必要な収入印紙代や、消費税を計上しています。

⑨ 報償費

まちスポ主催のイベントや、交流スペース受付業務を手伝って下さったボランティアに支払った報償費を計上しています。

⑩ 支払助成金

飛騨地域で活動しているフードバンク飛騨高山と、令和6年能登半島地震ささえあい基金で交付した助成金を計上しています。

⑪ 支払寄付金

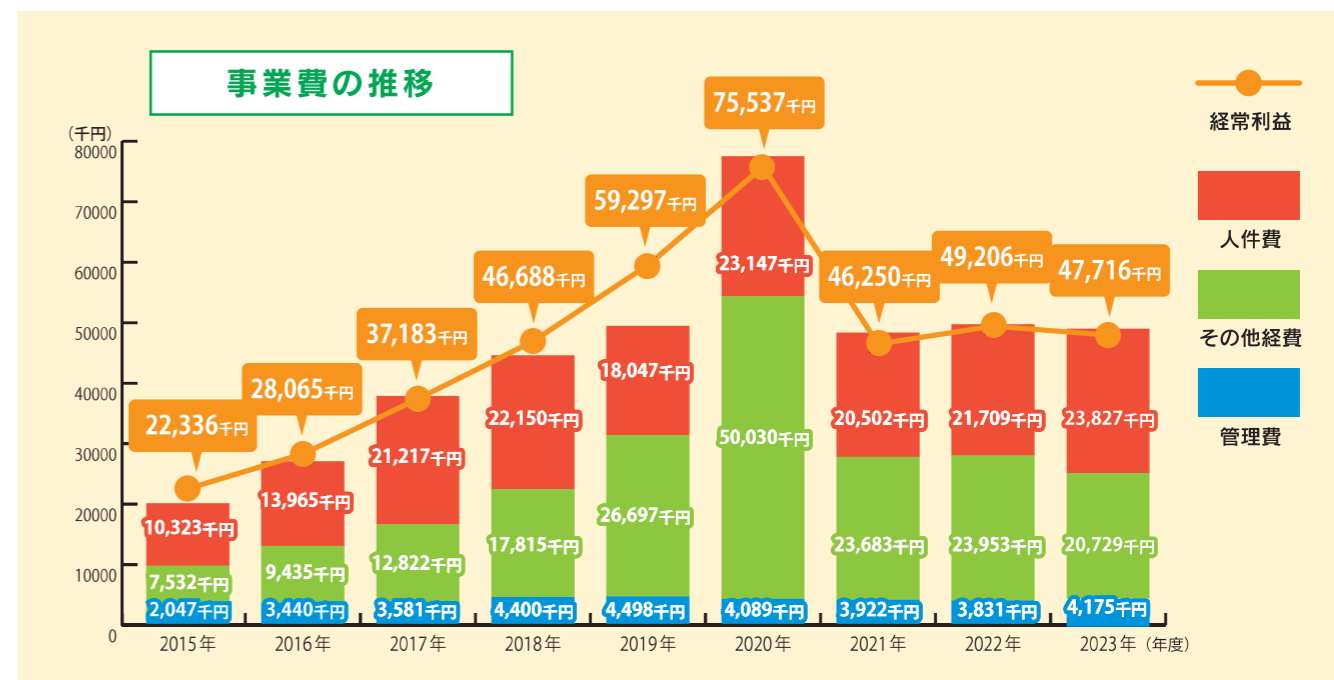
市民活動団体への協賛金や、ネットワーク団体への賛助会費を計上しています。

⑫ 管理費

総務・経理担当の人件費及び、役員報酬、NPO法人全体の管理に必要な印刷代、支払手数料、消耗品等の経費を計上しています。

貸借対照表

科目	金額(円)	
2024年3月31日		
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	8,262,803	
未収入金	3,382,637	
流動資産合計		11,645,440
2. 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		11,645,440
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	2,911,561	
預り金	234,933	
未払法人税等	153,000	
未払消費税等	422,400	
流動負債合計		3,721,894
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		3,721,894
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産額	9,074,581	
当期正味財産増減額	▲1,151,035	
正味財産合計		7,923,546
負債及び正味財産合計		11,645,440



2023年度を振り返って

「まちづくりの推進に係る事業収益」では、新たな休眠預金事業助成金や初挑戦した助成金の獲得もあり昨年度より増加。地域の状況に応じて財源を確保し、活動支援やサポートを行いました。

また、まちスポとやまでは令和6年度能登半島地震からの「とやまささえあい基金」で、事務局機能を担い、多方面から寄付が集まり速やかに団体への交付ができました。

2024年度も引き続き寄付金や事業収入などを無駄なく活用し、地域のみなさまの活動や取り組みに多く還元できるように努めてまいります。

まちスポの あゆみ

認定NPO法人まちづくりスポットは2023年3月4日に
設立10周年を迎えます。
これまでに取り組んできた5つの事業のキーポイントを
年表にまとめました。

■ 交流スペースの運営に係る事業 ■ まちづくりの推進に係る事業
■ ネットワーク事業 ■ 人材育成および研修に係る事業 ■ 広報事業

2011年度

秋～
大和リース株式会社が管理人を置かないコミュニティスペースの利用者をヒアリング調査する中でNPO法人ムラのミライ(旧、ソムニード)を訪問。以後協議を重ねることでNPOがNPOを支援する団体を共に作ることになる。

2012年度

- 8月1日
まちづくりスポット設立準備室を設立
- 10月1日
全国にスタッフ募集をかけ3名のスタッフを採用
- 11月1日
交流スペース「まちスポ飛騨高山」オープン
- 2月20日
会報「まちスポ」第1号発行
(2022年5月で100号!)
- 3月4日
NPO法人登記完了
NPO法人まちづくりスポット誕生



2013年度

- 6月7日
交流スペース「まちスポ稲毛」オープン
- 9月22日
第1回「ワールド・バーin飛騨高山 ～私たちの住みやすい高山市を想像しよう!～」(若者の意見交流の場)開催
- 11月30日
まちスポの事業でNPO法人ムラのミライ(旧、ソムニード)&大和リース株式会社が「第10回日本パートナーシップ大賞」優秀賞受賞
- 12月6日
交流スペース「まちスポ神戸」オープン

2014年度

- 5月～
「まちそだて相談」開始
- 9月30日
まちスポ飛騨高山助成金交付審査会初開催

2015年度

- 1月27日・28日
第1回「全国まちスポ交流会in飛騨高山」開催
- 4月1日
交流スペース「まちスポ茅ヶ崎」オープン
- 4月10日
交流スペース「まちスポ恵み野」オープン
- 7月～
地域ベンチャー留学in飛騨高山改め「ひだインターン留学」開始
- 9月1日
地元金融機関2社と連携して「ひだインターン留学実行委員会」を組成
- 8月11日～9月10日
「ワーキング・ホリデーin飛騨高山」開始

2016年度

- 7月2日
交流スペース「まちスポ鳥栖」オープン

2017年度

- 4月1日
サテライトオフィス「まちスポとやま」開設
- 8月17日
高山市「家族介護者相談室事業」(介護のためのほっとする談話室)受託

2018年度

- 1月16日・17日
第4回「全国まちスポ交流会in富山」開催
- 2月28日
認定NPO法人取得

2018年度

- 4月1日
移住交流施設「神明寮」オープン
(7月2日住宅宿泊管理業者登録)
- 5月21日
第7回「まちづくり法人国土交通大臣表彰」審査委員長賞受賞
- 8月20日
平成30年度飛騨地域移住・定住促進連携事業受託
- 11月17日
「CSOアワード2018」CSO賞受賞
- 11月30日
交流スペース「まちスポ福岡東」オープン

2019年度

- 4月1日
富山市健康長寿コンシェルジュ・サービス
元気づくりプログラム運営業務委託事業受託
- 6月27日
「ハッシュタグ」岡山オープン

2020年度

- 6月2日
飛騨地域コロナ対策医療支援基金
官民共同プロジェクト発足
- 11月23日
飛騨地域オンライン子育て支援ネットワーク構築事業
NPO法人飛騨高山わらべうたの会に委託
- 12月28日
富山市元気づくりオンラインサポート事業開始
- 3月20日
令和2年度岐阜県移住促進団体活動推進事業
/2020年度東海ろうきんNPO育成助成金お試し移住
拠点整備事業「ちょいひだ」ホームページ公開

2021年度

- 4月1日
飛騨コミュニティ財団(仮称)設立事業開始
- 12月1日
岐阜県女性のつながりサポート支援事業(居場所の提供)
運営業務開始

2022年度

- 8月～
フレスポ飛騨高山10周年記念事業
- 8月12日
飛騨コミュニティ財団(仮称)設立準備会 設立
- 11月
まちなかサロン登録団体紹介「まちなかサロンでつながろう! 元氣さがしBOOK」発行
- 12月25日
ひだスキマ白書2022 発行
- その他(2022年度まとめ)
 - ・視察受け入れ(11団体、計5名)
 - ・研修受け入れ(1件、計80名)
 - ・大学生インターンシップ受け入れ(4名)

2023年度

- 4月～
飛騨市移住定住支援事業「飛騨市移住支援センター開設」
ヒッツFMラジオ番組開始
- 6月5日
まちづくりスポット10周年パーティー開催
- 8月～
一般財団法人ひだ財団設立
- 1月～
富山県女性のつながりサポート事業
とやまささえあい基金創設
- 1月～3月
令和6年能登半島地震「とやまささえあい基金」創設
- その他(2023年度まとめ)
 - ・視察受け入れ(11団体、計204名)
 - ・大学生インターンシップ受け入れ(3名 日本人学生2名、
モンゴル人留学生1名)

- その他(2011年～2022年度まとめ)
 - ・視察受け入れ(77団体、537名)
 - ・研修受け入れ(19団体、263名)
 - ・大学生インターンシップ受け入れ(29名…中国人留学生7名、
タイ人留学生1名、韓国留学生1名、マレーシア留学生1名)

